

伊豆市立修善寺南小学校 学校だより

学校教育目標
重点目標

「共に輝く たくましい 南っ子」
「あふれる笑顔 熱い瞳 まぶしい汗」



:住所:
伊豆市柏久保425-1
:電話番号:
0558-72-0149

南っ子だより

令和3年9月8日 発行
第10号
文責：加藤 有紀子

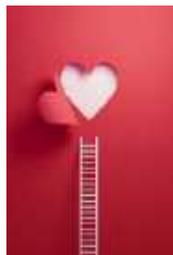
白露（はくろ）



二十四節気の15番目に当たるのが「白露」です。夜中に大気が冷え、草花や木に朝露が宿りはじめの頃。降りた露は光り、白い粒のように見えます。日中の暑さも和らぎはじめ、だんだんと秋の気配が深まっていきます。急な雷雨が訪れたり、蝉の鳴き声が聞かれなくなったり、見上げた空がいつもより高く感じられたり。

季節は少しずつ移っています。気をつけて目を配れば、「小さい秋」がそこかしこに見つかるはずです。

いのちを守る ～感染しない・感染させない～



夏休みが明け、子どもたちはたくさんの友達と鬼ごっこをしたり、話し合いをする中で、学習を深めたりできることを楽しみにしていたことと思います。

しかし新型コロナウイルス感染拡大防止措置として緊急事態宣言が発令され、学校生活はこれまで以上に我慢をすることが多くなりました。子どもたちはこのことをよく理解し、感染を防ごうと頑張っています。学校という集団生活の場で「子どもの学びを止めない」とことと「感染をしない」とこと、この2つを保証するのはとても難しいことです。養護教諭による感染予防の話を全クラスで行ったり、技能教科の学習内容を工夫したり、また、学校生活を安全に過ごすためのルールを、子どもたち自身で決めて実行していこうという取組を行ったりしながら、学校は安心、安全に務めていきます。

2学期は大きな学校行事や校外学習も予定されていますが、規模の縮小や中止なども考えられます。子どもたちにとっても楽しみでありまた、目標を立てて取り組める活動ですが、一番大切なことは「命を守る」ことだと考えます。保護者の皆様にはご心配をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



休み時間のおしゃべりも
距離をとって



一人でできることを考えて



タブレットの使い方にも
慣れてきたかな

東京2020大会が終わって

東京2020 オリンピック・パラリンピックが閉会しました。テレビで観戦し、勇気をもらった人も多いことでしょう。南小学校では大会の開催に合わせて、アスリートのお話を聞いたり、実際に競技を体験したりして、多くのことを学んできました。伊豆市が自転車競技の会場となったことで興味をもち、テレビの前でたくさん応援したことと思います。

会場を飾るアサガオを一生懸命育てたこと、心を込めてメッセージを書いたこと。無観客開催となり、多くの方に見ていただくことはできませんでしたが、海外の記者の方々が「素晴らしい取組」「おもてなしの心が伝わった」などと記事にして、自国に伝えたという話をニュースで聞きました。橋本聖子会長もオリンピック閉会式のスピーチで、このアサガオについて触れていました。心を込めて育てたアサガオは、自転車競技の会場で、選手の皆さんをお迎えする大役を無事、務めました。

東京2020大会は共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会だったと思います。ここから何を学び、どのような社会を創っていくのか、学校でも「総合的な学習の時間」やキャリア教育などで、子どもたちと考える時間を持ちたいと考えています。



南小のツバメたちはいごちがよいのか、今に至るまで何度も卵を産み、ひなたちが育っています。ピロティが汚れてしまうので、何力所かに新聞紙の入ったかごを置いてあります。日頃子どもたちが通るときに、邪魔になるピロティの真ん中あたりにも置かざるを得なかったのですが、このかごを蹴って通るような子は一人もいませんでした。脇を上手に歩いている姿を見て、温かい気持ちになりました。

南っ子の優しさ ここにも



工夫して 楽しく学習



まだまだ気は抜けませんが、楽しい授業の展開を、学校全体で考え行っています！

